

令和元年12月24日

別府市長 長野 恭紘 殿

別府市入湯税の超過課税分の使途に関する審議会
会長 関谷 忠

諮問（平成30年10月24日付け別観光第4-0499号）の答申
別府市入湯税の超過課税分の使途案に係る変更について

本審議会は、平成30年11月30日付けで答申した別府市入湯税の超過課税分の令和2年度以降分の使途案の変更について、慎重に議論を重ねた結果、入湯税の超過課税による財源の使途の方向性“5本の柱”である、①温泉資源の保護、確保、②観光客の快適性確保、③観光客の安全・安心の確保、④観光客を増加させるための事業推進、⑤観光客の受入体制の充実の要件に適合するものと認められるため、次のとおり改めて答申します。

記

1 はじめに

平成29年別府市観光動態要覧においては、平成22年に新たな統計方法に変更して以降、総観光客数が最大となる約880万人を超え、外国人観光客数も前年比33.5%増加して約60万人に達してこちらも過去最高となった。

外国人観光客のうち一番多いのが韓国からの約33万人で約55%を占め、2番目に多い台湾の約9万人を大きく引き離していた。今年に入ってから外国人観光客数の伸び率は全国的に鈍化してきており、折からの韓国経済の低迷と日韓関係の悪化により、7月から韓国観光客数の落ち込みが各観光施設や宿泊施設等でみられるようになり、観光の多角化が求められている。

このような中、9月から開催されたラグビーワールドカップ2019日本大会（RWC）では、準々決勝を含む5試合が大分会場で行われ、別府市はニュージーランドやオーストラリア、ウェールズといった強豪国の公認キャンプ地となり、これまで少数であったヨーロッパ・オセアニア地域から多くの観光客が訪れ、宿泊施設や観光施設、飲食施設等において賑わいが見られ、一定の経済波及効果があったものと推定されている。

また、RWCの観戦客の大半であるヨーロッパ・オセアニア地域の観光客は富裕層も多く、また滞在も長期間となる傾向にある。RWC期間中は、実際に多く

の外国人観光客を受け入れたことにより、充実した受入態勢の構築による満足度の向上や観光消費額の上昇のためには、現地でのアクティビティの充実等が必要であるとの課題が認識された。

さらに、本市では県外資本をはじめとするホテルの進出やリニューアルによる大型投資が活性化しており、ここ数年で増加する客室数は1000室を超え、ともいわれ、宿泊施設関係における慢性的な人手不足に加え、一層の人手不足の加速化が喫緊の課題となっている。

審議会においては、今年度実施中の事業について検証を行い、さらに上記の課題に対応する事業等について審議を行った。

なお、使途については5つの基本原則をもとに決めていくものであるが、平成30年5月に別府のみらい検討会議が提言した「入湯税引上げ部分の使途に関する提言」の以下の部分について時間経過とともに薄らいでいくことがないよう確認する。

「大前提として宿泊客等のお客様から納税していただいた入湯税は、その引上げ部分はお客様が納得される使い方をしなければならないということが委員の総意である。したがって、安易に現行の事業及びその延長線上にある事業に充てることは避けるべきである。また、新しい組織は各団体等の要望を集約する組織ではなく、別府観光を推進するために入湯税引上げ部分の効果的な使い方を公正に協議する組織であり、総花的または予算獲得の場とならないように注意しなければならない。使途に対する各団体等の要望をすべて否定するものではないが、別府観光全体を見渡して優先事業を判断できる組織でなければならない。」

2 具体的な使途案について

① 温泉資源の保護、確保

(1) セーので測ろう別府温泉一斉調査（継続）

資源保護のための市民啓発向けの調査としても大切なことであり、協力を得られた旅館ホテル等民間事業者の源泉を含め全100か所程度を、小学生児童向けと一般市民向けの年2回の調査を行う。

これについては、以下の温泉資源に関する調査も含め、その情報をオープンにすることによって、さらに温泉に関する研究が深まるとともに観光面への有効活用がなされるよう取り組むことが必要である。

(2) 地下水の現状調査（継続）

温泉資源に必要な地下水に関するデータが不足している現状であり、利用状況も環境保全条例で求めている内容では十分な把握ができないため、地下水利用、地下水脈等の研究を行う。

これについては、地下水の現状把握は、温泉資源保護について検討する

ための基礎資料となり得ることであることから、適当である。さらに、調査で終わるだけでなく、調査結果を活かすため地域の方への情報開示が必要である。

(3) 別府市温泉現況調査(令和元年度)別府市温泉賦存量調査(令和2年度)
(継続)

温泉資源の持続可能な保護対策の基礎資料とするため、大分県と協同で別府市内の全泉源を対象に温泉現況調査をし、過去の調査データ・資料との比較により温泉の賦存量(理論上、潜在的に存在している算出できる量)予測を行う。

令和2年度は、令和元年度の現況調査結果をもとに賦存量予測調査を実施する。

(4) 共同温泉データベース作成(継続)

共同温泉の維持運営は、基本的に各温泉組合等が主体となっており、別府の共同温泉文化を扱う資料は少ない。

また、共同温泉の運営が厳しいため閉鎖になる施設も出ているため、温泉文化継承のための保存資料を作成する。

(5) 共同温泉改修補助事業(継続)

各共同温泉の組合長から要望の多い、温泉運営に支障のある軽微な補修やバリアフリー対応に関する手すりや浴槽内段差設置に対する補助を行う。

補助対象については、財源の使途の方向性から鑑みて、観光客の利用頻度が多い施設にする等の検討が必要である。

② 観光客の快適性の確保

(1) 北九州空港～別府直行バス路線運行事業(廃止)

台湾航路の個人旅行者を主な対象とし、別府市への移動の利便性を高め、直接的に誘客を図る計画であった。

就航後はバス等の二次交通を手配済みの団体旅行が多数の状況であった。航路自体の継続の不透明性もあり、途中から韓国航路への対応を行ったところであるが、利用実績も乏しく今後もバス路線の利用率の向上が見込めないため事業廃止は妥当である。

(2) デジタルサイネージ回遊ルート検索システム保守業務(継続)

観光客の満足度を高めるとともに、回遊を促すことで消費額の拡大を図るため、F I T(海外個人旅行)への対応として、観光客の需要に適した

観光情報や二次交通の情報提供、観光ルート設計の仕組みを作る。

(3) フリーWi-Fiの周知及び増設（拡充）

市内にあるフリーWi-Fiの設置場所や登録方法に関する周知及びフリーWi-Fi設置場所の増設を行う。当初は、設置箇所の周知のみであったが、年度途中から増設を検討し、事業を拡充することとした。

これについては、次世代ネットワーク5Gの新しい規格によるサービス等の開始も予定されているため、普及状況や適応性等の今後の技術動向を把握する必要があるとともに、設置箇所の選定には、より多くの観光客のニーズに対応させるため、機器の設置方法等についても検討していく必要がある。

③ 観光客の安全・安心の確保

(1) 別府インターナショナルプラザ組織強化（継続）

別府インターナショナルプラザは訪日客を受け入れるに当たって不可欠な機能を果たしている。今後も更なる役割の拡大が考えられ、組織の継続的な存続を図るため、当該組織の主要ポスト等の人件費を補助する。

(2) 駅前情報発信Café維持管理・運營業務（継続）

2019年4月にJR別府駅にオープンさせた外国人観光案内所WANDER COMPASS BEPPUを運営し、将来的には民間事業者による自立運営を目指す。

また、駅の観光案内業務については利用者の利便性を考慮し、ワンストップ化を目指す。

④ 観光客を増加させるための事業推進

(1) 別府版DMO機能充実のための新規人材の雇用（継続）

B-biz LINK と地域の関係団体による別府観光に関する別府ならではのユニークなビジョン等について協議を行うほか、マチに根差した地域づくりとエビデンスに基づいた観光地戦略を描ける人材の雇用を行う。

これについては、事業の継続性や域外からの資本の獲得を目指し、地元で根差した観光を専門とする正規職員を募集し、育成してゆくことが望まれる。

また、アナリストとして調査・分析を担うものは、観光のリーダーの役割を果たすものと役割分担し、外部委託を行うことも考えられる。

(2) 観光マーケットター育成事業（継続）

立命館アジア太平洋大学等と共同し、観光マーケティング戦略の充実と

学びの実践の創造を同時に行う。将来的には B-biz LINK での正規雇用を視野に入れる。

(3) 海外旅行会社とのネットワーク構築(ランドオペレーター)事業(継続)

訪日観光市場の最前線で活動するベンチャー企業と提携し、ビジネスレベルにおける団体ツアーを取り込み、500超の海外ネットワークからもたらされる最新情報の入手のほか、別府の新しい情報を発信する。

これについては、海外からの送客実績あるが、特定の国や地域に偏らない多様性を持った誘客に取り組むことが望ましい。

(4) 既存資源の磨き上げによる新アクティビティ開発

(追加・令和2年度から事業実施)

べっぷストーリーとする枠組みに沿って「稼げる観光資源」や「別府の強み」を磨き上げる企画案及び事業計画案を作成し、施設所有者と協議のうえ、必要に応じて磨き上げのための資金や運営受託者を調達するほか、広告費等により運営初期の支援を行うことを計画している。

これについては、既存資源の活用による観光客増加の取組であることから適当である。ただし、観光地としての持続的な発展や民間投資による相乗効果を得るため、別府の目指す方向性や価値観を官民で合わせることを求められており、枠組みづくりについては検討を行う必要がある。

⑤ 観光客の受入体制の充実

(1) インターナショナルプラザ組織強化(再掲につき以下略)

(2) 駅前情報発信 Café 維持管理・運營業務(再掲につき以下略)

(3) トイレ整備費及び除草作業等景観維持費用(拡充)

トイレの改修・整備や道路の除草作業等を行うことにより、おもてなしの向上を図る。

(4) 宿泊業就労支援業務(追加継続・令和元年度から事業実施)

別府市における近年の旅館・ホテルの新設やリニューアルが相次ぐことに伴い、慢性的な人手不足に加え、更なる人手不足が喫緊の課題となっている。そこで、旅館、ホテルと協力体制のもと、人材派遣会社と連携しながら、問題解決に向け、PR等を含めた業務を行う。

これについては、事業者に対しては非常に重要な問題であるが、入湯税超過課税を負担するお客様からすれば関心が薄いことであることから、宿泊客の方に超過課税によっていろいろと良くなっていることをいかに伝えるか、事業の見える化に取り組むことが必要である。

3 予算規模について

- ① 「温泉資源の保護」については、3,000万円程度、②～⑤「観光客の快適性の確保」「観光客の安全・安心の確保」「観光客を増加させるための事業推進」「観光客の受入体制の充実」については、1億円程度を想定している。

4 その他の使途についての意見

入湯税の超過課税分の前述の使途案に加え、温泉や観光に関する施策等に対する各委員からの意見・要望について、下記に記載する。

① 温泉資源の保護、確保

- ・ 共同温泉の補助金については、モデルケースのようなものがあると良い
- ・ 既存の共同温泉を守るだけでなく、集客できるようにすべき
- ・ 温泉資源の保護の観点から、地熱発電への対応を検討してほしい
- ・ 調査は、役立つ実感があると、協力がしやすい
- ・ 温泉のくみ上げを、営業時間外は止めたりはしないのか
- ・ データベース作成について、建設時から変わっている共同温泉もあると思うので、現地調査をした方が良い
- ・ 別府の共同浴場は、別府という街の豊かさの象徴であり、街に暮らす人も観光に来た人も、ふらっと温泉に入れる。これは本当に大事なことであり、これを守らなくてはいけない

② 観光客の快適性確保

- ・ 通信環境をスポット的に強化するというのが、Wi-Fiの役目
- ・ 技術革新を含めて、Wi-Fiの整備計画のようなものを作る必要がある

④ 観光客を増加させるための事業推進

- ・ APUの留学生の父母層を取り込む
- ・ アクティビティとアクティビティを結合させるアイデアや工夫等にお金や労力をかけてほしい
- ・ 観光地のブランドは経験
- ・ 売りたいものをちゃんと流通に乗せないといけない
- ・ 軽薄なレジャーに引き込まれて、別府の良さが消えてはいけない
- ・ 人を育てることを考える
- ・ 国内向けの誘客を出した方がいいのではないのか
- ・ ユニバーサル観光の推進もしてほしい
- ・ 中国インフルエンサーマーケティング事業と関連させて、人材雇用等を検討してほしい
- ・ 既存施設の磨き上げと新アクティビティの開発とのすみ分けをしておかないといけない

⑤ 観光客の受入体制の充実

- ・人材確保は、既存のパイの取り合いにならないようにしなければいけない
働く人を掘り起こし、パイを大きくする必要がある
- ・別府市の潜在的労働力のデータを取った方がよいのではないか
- ・女性雇用には、扶養の壁が大きく影響している
- ・人材雇用の事業については、旅館ホテル組合等との意思疎通が大事

○ ①～⑤以外の温泉や観光事業に関する意見

- ・別府駅のシャトルバスの停留所
- ・この審議会で、どこまで議論するのか整理をしないといけない
- ・事業の見える化を考えないといけない
- ・様々な投資が増えている中で、方向性を合わせることが重要
- ・別府の価値観、何を一番大事にしているのか、方向性として見えていない
といけない
- ・事業実施にあたって、様々な助成制度の活用を検討すべき
- ・人材育成について、一貫した政策が必要ではないか
- ・天災の際の観光客への対応がしっかりしていると、安心感を与えられる
- ・温泉の資源について、もう一度掘り返してみると面白いのでは
- ・超過課税分を充当した事業の案内チラシ等に、超過課税分を使って実施す
ることが記載されていないので、記載するべき
- ・共同温泉への貸付金制度を作った時代とはもう変わっており、人が多く入
っていた時代とは違う。課題を抱えている温泉がたくさんあり、制度の見
直しも検討が必要ではないか
- ・市内に色んな組織があり、それが連携や調和していくことを統括していく
のが、DMO機能の大切な役割の1つではないか
- ・別府の海や山をもっと発信できると良い
- ・この審議会は、要望を伝える場所ではないと思う。そういった要望を吸い
上げる場所を設定して、その中で出た本当に必要なものをこの場で審議す
るという形の方が良いのではないか
- ・大きな視野で未来への方向性を決めて目指していくことは重要。しかし、
地元での困り事も沢山あるのが現状。そういったことに対しても、実地調
査をすれば、そこから見えてくることもあるのではないか

また、入湯税について直接お客様へ説明し、お客様から入湯税をお預かりする
立場である、別府市旅館ホテル組合連合会からの意見・要望等について、別紙に
記載する。

5 審議会委員（順不同、敬称略）

役職名	氏名	所属等
会長	関谷 忠	大分県よろず支援拠点 チーフコーディネーター 別府大学 名誉教授
副会長	今村 正治	株式会社今村食堂 代表 立命館アジア太平洋大学 元副学長
委員	山田 雄一	公益財団法人日本交通公社 観光政策研究部部長
委員	西田 陽一	別府市旅館ホテル組合連合会 会長
委員	上月 敬一郎	大分県旅館ホテル生活衛生同業組合 常任相談役
委員	甲斐 裕明	九州旅客鉄道株式会社 別府駅長
委員	河村 貴雄	別府商工会議所 副会頭
委員	佐藤 正敏	NPO 法人別府八湯温泉道名人会 理事長
委員	橋本 栄子	別府港賑わい施設等検討会議 委員
委員	川上 隆	別府市 副市長

6 第1回～第3回審議会実施状況について

- 第1回別府市入湯税の超過課税分の使途に関する審議会
日 時：令和元年8月8日（木） 14時00分～17時00分
場 所：別府市役所1階 レセプションホール
内 容：経過報告、使途案変更審議
- 第2回別府市入湯税の超過課税分の使途に関する審議会
日 時：令和元年10月18日（金） 13時30分～16時00分
場 所：別府市役所1階 レセプションホール
内 容：使途案変更等審議
- 第3回別府市入湯税の超過課税分の使途に関する審議会
日 時：令和元年12月9日（月） 9時30分～12時00分
場 所：別府市役所1階 レセプションホール
内 容：経過報告、使途案変更等審議、答申案内容審議

別紙

別府市旅館ホテル組合連合会からの
意見・要望等について

入湯税について直接お客様へ説明し、お客様から入湯税をお預かりする立場である、別府市旅館ホテル組合連合会からの意見・要望等について、下記に記載する。

① 温泉関係

- ・ 市（振興センター）が管理する温泉を鉄輪旅館組合に加入している各旅館の給湯が止まった時に臨時に給湯してもらいたい。
- ・ 旅館を安心して営まれるよう、浴場への安定した給・配湯管のインフラ整備を要望します。（例えば源泉の湯量の減少・停止の場合の緊急措置をどうするか等の対策）
- ・ 市営温泉の受付の方々の待遇向上と教育のための入湯税としてほしい。また、受付の方々に別府温泉のコンシェルジュとしての意識を持ってほしい。
- ・ コミュニティーの核となる「町湯文化」（共同温泉）を守る事業をしてほしい。
- ・ 市営温泉「竹瓦温泉」の魅力の創出と磨き上げをしてほしい。
- ・ 鉄輪付近ではきれいな余分な温泉を捨てているので、これを上手に利用する方法や、将来温泉が足りなくなったときどうするのかを考えて、準備をしてほしい。

② 観光関係

- ・ 九州観光推進機構のデータ、ビックデータを入手し、別府観光に活用できる仕組みを充実、整備してほしい。
- ・ 活躍している有名な人材を採用するのではなく、地元別府に永住する意欲のある人材を公募し、将来の別府観光の担い手として育成してほしい。（3名程度）
- ・ ビービズのDMO機能の整備と充実が必要 ビッグデータの入手と分析を今から実施しておかないと施策が1年単位で遅れていくため、観光地経営のプロを育てていく（もしくはスカウトする）プログラムを実施してほしい。
- ・ 信号機や、道路標識を充実してほしい。（例：信号機に数字を振る、外国語表記、〇〇通りの表示、ユニークな看板の設置、等）

- ・ 別府駅周辺の一箇所を整備し、周辺ホテルへのシャトルバス発着用の優先乗降場所として利用、また、各ホテル専用ではなく共有して使える乗降場所を一箇所設置してほしい。
- ・ JRと共同でプロに任せる等して、別府駅～駅前通り～トキハマまでを圧倒的な数で飾りつけを行い、イルミネーションの充実をしてほしい。また、近鉄跡地を別府市で購入し、プラザ機能を活用してほしい。
- ・ 各施設でのクレジットカードおよび電子マネー普及のサポートをしてほしい。

③ その他

- ・ 別府インターからのアクセス（堀田～南立石）工事再開と早期開通を希望します。
- ・ やよい銀天街・楠銀天街の整備・活性化に利用してほしい（天井屋根の補修、空き店舗の新規開業先の誘致、広告施策実施費用等充当、ビジター参加型の盆踊り等の体験観光の実施、等）。
- ・ 別府のブランディング（東アジアの富裕層）インフラの強化、アクセスの強化、別府に引き付けるイメージ写真や動画の作成をしてほしい。
- ・ 新たな魅力的風景を創出「芸術文化」全国のアーティストによる壁画を創出してほしい。
- ・ 希望する旅館ホテルの前から別府駅までをつなぐ路線バスを増設し気軽に別府駅前の賑わいを楽しめるようにしてほしい。
- ・ 温泉道の駅のような別府を代表する施設を作っていただきたい。温泉のすべてがわかり、入浴食事可能なものにしてほしい。

④ 意見

- ・ 超過課税分は当初は観光以外に使用しないと言っていたのに源泉調査は関係ないし、一般財源よりやるべきと思う。
- ・ 日本人旅行客と外国人旅行客の年間目標宿泊人員の設定と、当該人員に対して短期の誘客施策と中長期の誘客施策の設定および目標管理の表が基準作りが必要と思う。
- ・ 施策もないのにお金だけ集めて余ったら箱物をとというようなことはやめてほしい。この順番が逆だと意見だけ聞いて一般財源化するのはやめてほしい。